

鉄師の魂

日本の鉄文化を守り伝える伝統の技

日刀保たたら操業

全国で唯一、日本刀の材料となる玉鋼を製造する、鳥上大呂にある日刀保たたらで、一月二十一日から二十四日にかけて、第一回目のたたら操業が行われました。



二十一日の火入れ式には、日本美術刀剣保存協会、全国日本刀匠会、日立金属安来工場、靖国神社などの関係者、地元からは岩田町長、大谷商工会長ら約三十人が出席して

操業の安全を祈願しました。昭和五十二年にたたら操業が復元され、今回で百二十八代目となります。作業は三昼夜、不眠不休で行われ、二人の村下と一人の村下養成員により、砂鉄約十ト、木炭約十二トが投入され、二十四日には、日本刀の材料となる鋼約三・五トが取り出

されました。次工程の鋼造りにより、約二・五トが日本刀の材料となる玉鋼となり、全国の約二百五十人の刀匠に供給され、美術刀剣が造られる予定です。国選定保存技術保持者であ

高円宮妃久子さまご来町

高円宮妃久子さまが、一月二十三日、出雲大社の千家尊祐宮司御夫妻とともに来町され、日刀保たたら高

殿内での操業の様子、二十四日早朝には、玉鋼のもととなる鋼が炉から取り出される様子などを興味深くご覧になりました。妃殿下は、日本の伝統文化に関心が高く、後世への文化継承にご尽力されています。迫力ある操業や赤々と燃え上がるたたら炎、炉を崩して鋼を取り出す壮絶な様子をカメラに収めるなど、



▲鋼を前に記念撮影（中央が高円宮妃久子さま）

る木原村下は「全員で真心を込め、人間力を結集してこそ純度の高い、良質の玉鋼ができる。これからも日本の鉄文化を守り、伝えていきたい」と話されました。

冬のスポーツ

三井野原でスキー大会



一月十八日、三井野原スキー場で、第四十二回陰陽三井野原スキー大会兼仁多郡スキー選手権大会、第三十九回仁多郡中学校スキー大会が開催されました。

【大会結果】

- スラローム
 - △小学男子△ 一位 佐伯 航汰（八川小）
 - △小学女子△ 一位 糸原 裕佳（八川小）
 - △中学男子△ 一位 吉川 巧海（横田中）
 - △中学女子△ 一位 安部 万里（横田中）
 - △少年男子△ 一位 中湯 司（横田高）
- クロスカントリー
 - △中学男子△ 一位 井上 魁（仁多中）
 - △中学女子△ 一位 柴田ちひろ（仁多中）

森林の保全活動 「しまね企業参加の森づくり」調印式



▲協定書調印後握手を交わす関係者

荒廃する森林の増加に歯止めをかける目的で、平成十八年に県が創設した「しまね企業参加の森づくり」（企業が自治体の仲介で森林所有者から無償で土地を借り、森林の保全活動を行う）の調印式が二月五日、島根県庁で行われました。

調印式には、松尾秀孝副知事や岩田町長をはじめ、実施主体となる山陰酸素工業（米子市）代表取締役の並河 勉社長や仁多郡森林組合の絲原徳康組合長らが出席。協定期間は八年で、上阿井の「たたら角炉伝承館」付近

の森林（約一・二三ヘクタール）において実施され、最初の三年間で繁茂した竹林を伐採。残る五年で同社員らによってモミジやサクラなどの広葉樹林が整備されます。岩田町長は「今回の参画を契機に、森林保全活動、森林行政を一層進めていきたい」とあいさつがありました。

なお、実施場所は、奥出雲町の南の玄関口にあたり、今後、景観豊かな奥出雲にふさわしい森林整備が進められます。

お互いに認め 支えあう社会へ

奥出雲町男女共同参画講演会

奥出雲町男女共同参画講演会が二月七日、横田コミュニティセンターで開催され、町民約三百人が、熱心に講演に耳を傾けました。

講師は、講師の宝井琴桜さんで、男の話芸とされてきた講演界に飛び込んで四十年。初めての女性講師ということで諸先輩からの風当たりは厳しかったことなど、入門当時のエピソードなど、自らの体験などを交えて講演されました。

男女共同参画基本法を独特の話術で語り、「戦国武将と女たち」、創作講談「山下さんちの物語」という架空の家族の体験等、講談の特徴である張扇で演台を叩きながらの



▶講演を行なう宝井琴桜さん

小気味よいリズムに乗って繰り広げられ、初めて男女共同参画について聴く人にも、とてもわかりやすく語られ、会場は笑いとユーモアに包まれていました。

宝井さんは「世の中には、政治の土俵、仕事の土俵、子育ての土俵、家事の土俵、介護の土俵など様々な土俵がある。性別だけで役割を決め付けず、女と男が対等な立場で同じ土俵に上がり、がつぷり四つに組んで一緒に取り組み、



▶アンケート調査の報告

喜びも責任も分かち合う。それが男女共同参画社会です」と話されました。



▲講演に見入る多くの観衆

また、講演に先立ち、町内の二十歳以上を対象に行われた「男女共同参画アンケート調査」による町民の意識調査の報告もあり、参加者は依然男女の役割を固定的にとらえる意識が根強いことを改めて感じていました。

参加者からは「男女共同参画は特別なことではなく、自分たちの身近にたくさんあることに気づいた。自分の生活を振り返り、できることから実践していきたい」など感想がありました。